



感染性胃腸炎に **注意!**



〈感染性胃腸炎の特徴〉

- 潜伏期間は1～3日程度です。
- 感染力が非常に強く、症状が治まった後も周りに感染させてしまうことがあります。
- 病原体に汚染された水や食品、感染者の嘔吐物や糞便などの排泄物によって汚染された手・ドアノブ・食物などを介して感染します。
- 嘔吐と下痢が主症状ですが、嘔吐のみ・下痢のみの場合、37～38℃の発熱、吐き気、腹痛など、症状のあらわれ方や程度に個人差がみられます。
- 2～7日で治りますが、発熱や嘔吐、下痢で脱水症状をおこすこともあります。
- 体調の変化（下痢等）があれば、早めに医療機関を受診しましょう。
- 消毒方法等は裏面を参考にしてください。

〈嘔吐物・オムツの処理〉



いざというとき慌てないように、嘔吐物や便の処理に必要なグッズをまとめておくと便利です！

- 使い捨てのマスク、エプロン、手袋を使用しましょう。
- 処理するときは窓を開けて換気しましょう。
- 乾燥しないうちに処理しましょう。
 - ① 嘔吐物は新聞紙で覆い*消毒薬をかける。 ※消毒液:0.1%次亜塩素酸ナトリウム
 - ② 中央に向かってふき取りビニール袋に捨てる。
 - ③ 汚染場所を新聞紙等で覆い*消毒薬をかけて10分放置する。
 - ④ 中央に向かってふき取りビニール袋に捨てる。
 - ⑤ おむつはすぐにビニール袋に入れ、*消毒薬に浸し密封して捨てる。

〈感染性胃腸炎の感染予防〉

1. 手洗い・うがいをしっかり行いましょう。
 - ✓ 帰宅後、トイレの後、調理前や食事の前などは、石けんと流水で手のひら、手の甲、指の間、親指をしっかりと洗い、洗い残しがないようにしましょう。
 - ✓ 手を拭くタオルは、個人専用のものか、ペーパータオルを使いましょう。

2. 入浴時には体を洗ってから浴槽に入りましょう。

- ✓ 下痢がある場合は、乳幼児との混浴やバスタオルの共用を避け、最後に入るかシャワー浴にしましょう。
- ✓ 風呂の湯は毎日取り替え、浴槽はよく洗い流しましょう。

洗い残しやすい箇所



〈消毒方法〉

ノロウイルス・ロタウイルス等には、アルコール、逆性石鹼（オスバン）等の消毒薬は効きにくい。

〔消毒薬〕 ■ 消毒には次亜塩素酸系のものを用いて、汚染された場所、トイレ周り、洗面所、テーブル、風呂等共有部分を拭きます。

■ 消毒有効濃度（希釈濃度）

〈通常時〉 トイレ周り、ドアノブ、手すり、床など → 0.02%

〈患者発生時〉 嘔吐物、排泄物の処理、汚染場所 → 0.1%



★患者の衣類等は、0.1%の消毒薬に30分つけ置きした後洗濯します。

★色物は色落ちを防ぐため、85℃の熱湯に1分以上つけ置きした後洗濯します。

★汚れた下着等は水洗いし、0.1%消毒薬に30分つけ置きした後洗濯します。

- 〔注意！〕
- ① 原液濃度を確認してから希釈してください。
 - ② 希釈した消毒薬は、他の消毒薬と絶対に混ぜないでください。
 - ③ 消毒する際は手袋をしてください。
 - ④ 室内の換気を行ってください。
 - ⑤ 金属腐食性があるので、消毒後10分たったら水拭きをしてください。
 - ⑥ 消毒作業後には石鹼による入念な手洗いと通常の手指消毒を行ってください。

次亜塩素酸ナトリウムの希釈液早見表（500mlペットボトルで作る場合）

ペットボトルのキャップ約半分：約2ml
ペットボトルキャップ軽く2杯分：約10ml

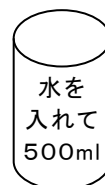
0.02%(200ppm)の次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作り方

原液濃度 1% の
場合
(ミルトン1%)



0.1%(1000ppm)の次亜塩素酸ナトリウム希釈液の作り方

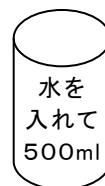
原液濃度 1% の
場合
(ミルトン1%)



原液濃度 5% の
場合
(ハイター5%)
(ピューラックス6%)



原液濃度 5% の
場合
(ハイター5%)
(ピューラックス6%)



* 次亜塩素酸ナトリウム希釈液の安定性は比較的良好ですが、時間とともに効果が減弱しますので保管時は蓋をして早め（24時間以内）に使いきりましょう。

* ペットボトルを使用する場合は、飲料と間違わないように明記し、直接日光の当たらない場所に保管しましょう。

（特に、高齢者・乳幼児の施設においては、保管に充分注意し従事者以外のものが扱えないようにしておきましょう。）

京都府乙訓保健所（山城広域振興局健康福祉部）
〒617-0006 向日市上植野町馬立8番地
TEL. 075-933-1153 FAX. 075-932-6910